

特集

訪問看護と介護の魅力を伝える

訪問看護師の人材不足がとみに話題になっています。理由はさまざまに指摘されていますが、看護師に訪問看護の魅力が伝わっていないことも一因のはず。そこで本特集では、看護師や学生に訪問看護に目を向けてもらうための活動や、介護職の人材確保の工夫、訪問看護師が就業先決定の際に重視する因子を紹介し、今後へのヒントにしたいと思います。

〔対談〕魅力ある訪問看護ステーションを考える 萩原正子／角田直枝
 病院看護師を対象にした訪問看護1日体験のねらいと効果 曾木はま子
 看護学生に伝える在宅看護の魅力 増田恒子
 訪問介護・看護の人材確保の工夫―介護職の新卒採用の経験を中心に 松田栄子
 訪問看護師は就業先を決める際に何を重視するか 緒方泰子

■特別記事

日本の歯科医療政策と訪問看護 野村真弓
 看護教員が在宅介護を経験して 大石杉乃

■新連載

もの忘れを補うモノたち―簡単な道具と機器を利用した認知症患者の日常生活支援 安田清

■連載

時間を忘れて 天方晴子／訪問看護時時刻々 石田昌宏／事例で考える医療福祉倫理 菊井和子ほか／大牟田発！地域の縁側で認知症ケア 牧坂秀敏／訪問看護のパイオニアたち「上野桂子さん」 竹森志穂ほか／わたしのことをわたしから 伊藤瑞奈子／わが憧れの老い 服部祥子／在宅で療養するがん患者と家族のためのケアの手引き 福井小紀子／ほんとの出会い 岡田真紀／桜色のハーフコート 赤川次郎

編集
後記

●改正介護保険は、高齢者の住み慣れた地域での療養生活を後押しする方向ではあったのですが、介護サービスに地域差があり、地域包括支援センターの対応もさまざまで、利用者も支援者も泣きたい思いをした1年でした。特集の鏡論文から行政の苦闘、続く3つの論文からは地域の要に看護職がいてくれることの意味を実感しました。特別記事は2006年度に都庁の会議室で銀行やバス会社やスーパーの代表が集まって認知症高齢者を支えるにはどうしたらよいか語られた「東京会議」の報告。どちらも2年目に注目です。……………伊藤N
 ●今月号のインタビューで訪ねた戸高ジム。ボクシングジムに足を踏み入れたのは初めてだったのですが、自由が丘の街になじむ明るく清潔な雰囲気と、吉田選手と宮川選手の真摯な受け答えに、こちらの緊張も解けました。お二人はともに4月10日に東京・後樂園ホールでの試合に出場するそうなのでぜひ注目を。さて、今月からスタートした連載は大牟田発の「地域の縁側で認知症ケア」。現地に飛び込んで始めた地域福祉の拠点づくりの過程を、牧坂秀敏さんの取り組みと歩調を合わせてお伝えしていきます。……………伊藤M

訪問看護と介護 第12巻 第4号 2007年4月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2007, Printed in Japan

1部定価1,260円(本体1,200円+税5%) 年ぎめ予約購読料13,200円(年間12冊, 消費税, 送料弊社負担)

発行:株式会社 医学書院/代表者:金原 優/販売部:03-3817-5657/社内案内:03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室:直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当:伊藤・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

〔JCLS〕<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本紙の無断複写は著作権法上での例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。